



日本電子機械工業会規格  
Standards of Electronic Industries Association of Japan

**EIAJ RC-5121A**

電子機器用ディップスイッチ品種別通則

**Dual-in-Line Package Switches  
for Use in Electronic Equipment**

1991年3月制定

1997年3月改正

作 成

接続部品標準化委員会

Technical Standardization Committee on Connecting Components

発 行

社団法人 日本電子機械工業会  
Electronic Industries Association of Japan

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲 .....	1
2. 用語の定義 .....	1
3. 形名 .....	2
3.1 形名の構成 .....	2
3.2 記号 .....	2
4. 定格 .....	5
4.1 定格電圧 .....	5
4.1.1 定格通電電圧 .....	5
4.1.2 定格開閉電圧 .....	5
4.2 定格通電電流 .....	5
4.3 定格開閉電流 .....	5
4.4 使用温度範囲 .....	5
5. 外観，構造，仕上げ，寸法及び表示 .....	5
5.1 外観，構造及び仕上げ .....	5
5.2 寸法 .....	6
5.3 表示 .....	6
6. 材料 .....	6
7. 性能及び試験方法 .....	6
8. 試験 .....	21
8.1 標準試験状態 .....	21
8.2 試験の種類 .....	21
9. 表示 .....	22
9.1 スイッチ本体の表示 .....	22
9.2 包装の表示 .....	23
10. 包装 .....	23
付図 1 DIP形の形状寸法 .....	23
付図 2 SMD用L形の形状寸法 .....	24
付図 3 DIP形の端子ゲージ形状寸法 .....	24
解説 .....	25

## 日本電子機械工業会規格

## 電子機器用ディップスイッチ品種別通則

## Dual-in-Line Package Switches for use in Electronic Equipment

1. 適用範囲 この規格は、主として電子機器に用いる定格通電電圧DC 60V，定格通電電流0.1A以下，定格開閉電圧DC 24V，定格開閉電流0.1A以下のディップスイッチ（以下，スイッチという。）の電氣的性能，機械的性能，耐候性及びその他の要求事項について規定する。

備考1. ここでいうディップスイッチとは，一つのケースの中に，それぞれ操作部をもった一つ以上のスイッチング機構を並置し，その端子が2.54mm(0.1インチ)ピッチを基本として，平行2列に配置された小形高密度のプリント配線板用スイッチをいう。

備考2. この規格の引用規格及び対応国際規格を，次に示す。

引用規格：J I S C 0 0 5 0 (1996) 環境試験方法（電気・電子）はんだ付け試験方法

J I S C 5 4 4 1 (1994) 電子機器用スイッチの試験方法

J I S K 1 5 0 1 (1993) メタノール

J I S K 5 9 0 2 (1969) ロジン

J I S Z 3 2 8 2 (1986) はんだ

E I A J R C X - 0 1 0 2 (1989) 表面実装部品のはんだ付け試験方法

E I A J R C X - 0 1 0 2 / 1 0 1 (1989) はんだ付け性試験方法

E I A J R C X - 0 1 0 2 / 1 0 2 (1989) はんだ耐熱性試験方法

E I A J R C - 0 9 0 1 (1992) 電子部品の製造年月及び製造年週表示方法

E I A J R C - 5 1 0 2 (1993) 電子機器用スイッチの硫化水素試験方法

対応国際規格：I E C 1 0 2 0 - 3 (1991) Electromechanical switches for use in electronic equipment Part 3:Sectional specification for in-line package switches

2. 用語の定義 この規格で用いている主な用語の定義は，J I S C 5 4 4 1（電子機器用スイッチの試験方法）によるほか，次による。

(1) 端子 プリント配線板の導体部と接続するために設けられた導体。